学校番号	1206

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）自動車入門	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車とは現代の車社会に生きる我々にとって身近なものであり、現代社会で無くてはならない必需品ともいえる交通手段です。自動車工学の講座では、自動車とはどのような構造で、どのような工業製品であるのかを基礎から学習します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自動車に関する基礎的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
自動車の構造を学び、部品を正しく扱い取付け方法が判断できる。
【学びに向かう力、人間性等】
自動車工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車工学に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	自動車工学に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。また、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	自動車工学に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	動力伝達装置	クラッチについて 変速装置について その他の伝達装置	a:動力伝達装置に関する基礎的知識や役割が理解できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を模索し、その解決に向け条件設定する能力が身についている。 c:学習内容の関連に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ノート プリント	授業への取り組みの工夫・的確な判断	態度 意欲
	走行装置・懸架装置とかじ取り装置	走行装置 懸架装置 かじ取り装置	a:走行装置に関する基礎的知識や役割が理解できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を模索し、その解決に向け条件設定する能力が身についている。 c:学習内容の関連に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ノート プリント	授業への取り組みの工夫・的確な判断	態度 意欲
	ブレーキ装置	ブレーキ装置の役割 ブレーキの種類と構造 ブレーキの操作機構	a:ブレーキ装置に関する基礎的知識や役割が理解できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を模索し、その解決に向け条件設定する能力が身についている。 c:学習内容の関連に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ノート プリント	授業への取り組みの工夫・的確な判断	態度 意欲
後期	走行と性能	走行抵抗と駆動力 直線走行性能 曲線走行性能 乗り心地性能	a:走行と性能に関する基礎的知識や役割が理解できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を模索し、その解決に向け条件設定する能力が身についている。 c:学習内容の関連に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ノート プリント	授業への取り組みの工夫・的確な判断	態度 意欲
	自動車の電気・電子技術	バッテリについて スタータの原理 発電装置のしくみ	a:電気自動車に関する基礎的知識や役割が理解できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を模索し、その解決に向け条件設定する能力が身についている。 c:学習内容の関連に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	ノート プリント	授業への取り組みの工夫・的確な判断	態度 意欲

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度